

一年のサークル活動の集大成を迎える今秋期、 早稲田サークル文化をより豊かに作りだそう！

- ・演奏会、演劇公演、研究展示、ショー、競技大会など、各サークルの文化諸企画を成功させよう！
- ・物価高騰分を上回るサークル補助金の大幅増額をかちとろう！
- ・老朽化したサークル活動施設・備品の改修・拡充をかちとろう！
- ・来年度の超大幅学費値上げ反対！
困窮する学生への学費負担軽減・経済支援を拡充させよう！
- ・サークルから「言論・表現の自由」「平和主義」を脅かす憲法改悪に反対の声をあげよう！
- ・ウクライナ反戦デモに参加した愛大生の「退学処分」反対！
全国の学生と連帯して、学生の団結の拠点である学生自治会への政治的弾圧に抗議しよう！

X (旧ツイッター)

文連常任委員会



すべての文連加盟サークル員のみなさん！ いよいよ文化・芸術の秋の到来です。コロナ規制の完全撤廃後はじめての夏休みをつうじて、合宿や練習・稽古、研究を存分におこない・培った力を発揮し、演奏会や演劇公演、研究展示、ショー、競技大会など、各サークルの文化諸企画を大成功させましょう！ もって早稲田サークル文化をより豊かにより創造的に作りだしていこうではありませんか！

物価高騰分を上回るサークル補助金の大幅増額をかちとろう！

実に2年にわたる物価高騰で、サークル活動に不可欠な木材、ペンキ、紙、文房具などの価格が大幅に値上げされています(10月からはハム、チョコ、お茶、コーヒー、振込手数料、郵便代、電気・ガス代などが軒並み値上げ)。私たちのサークル活動経費の負担はますます増大しており、これ以上の自己負担はもう限界です。いまこそ大学当局はサークル活動への財政補助を拡大すべき時です。にもかかわらず大学当局・学生部は現行のサークル補助金の上限額30万円をビター文上げようとしていません。私たちは、物価高騰分を上回るサークル補助金の大幅増額を要求しよう！

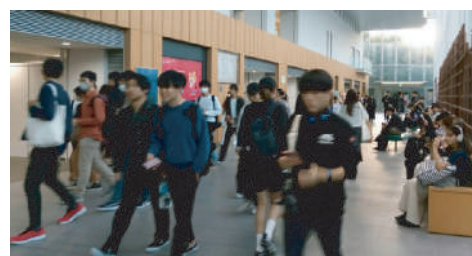
サークル補助金の対象がイベント経費のみに限定されていることも問題です。私たちは、イベント実施の有無やサークルのジャンル・規模の違い

を超えて団結し、イベントという“成果”をあげなければ補助金を支給しないという成果主義的な現行制度を改めさせ、必要とするすべてのサークルにたいして「事前に一律で」補助金を支給させましょう。

老朽化したサークル活動施設・備品の改修・拡充を求めよう！

築23年になる学生会館はいたるところで老朽化が進んでいます。背面・座面が外れる椅子、キャスターが壊れた机、書いた文字が消せないホワイトボード、開かない窓、閉じない扉…。このまま放置しては、私たちのサークル活動に支障が出るだけでなく、安全面でも危険です。直ちに改修・新調を求めましょう！

早稲田のサークル数に比して、大人数収容の会議室や音出し可能な練習室は圧倒的に不足しています。毎回、学生会館の月予約には多くのサークルが殺到し、抽選に外れたサークルは外部の練習場所を借りざるを得ません。そのための会場代や交通費も値上がりし、私たちの懐に大打撃を与え



秋の文化諸企画の準備に励むサークル員
にぎわう学生会館

ています。私たちの要求で今年度からサークル活動場所として教室の開放をかちとったことにふまえ、さらに音出し可能な教室の貸出拡大を実現しましょう。

来年度からの超大幅学費値上げ反対！ 困窮する学生への学費負担軽減・経済支援を拡充させよう！

大学当局・理事会は、来年度新入生の学費を、実に4年間総額で32～52.5万円も値上げすることを発表しました(6月)。狂乱的な物価高騰のもとの早大生の生活難を一顧だにしない・あまりに一方的な決定に断固抗議します。多くのサークル員が、学費をまかなうために奨学金を受給したり、バイトに励んだりしています。これ以上の学費負担増は、早大生にとってサークル活動のみならず学生生活そのものを困難にするものであり、決して看過できません！ 「経済的理由でサークル活動を諦めざるを得ない仲間を一人も生み出さない」を合言葉に、すべてのサークル員が団結して、早大当局・理事会に学費減免・経済支援の拡充を求めましょう！

早大当局・理事会は、政府・文科省からの私学助成金の削減のツケを、学費値上げという形で私たちに負わせています。岸田政権は、5年間で43兆円もの巨額な軍事費増額のために、社会保障費や文教費を大幅に削減しています。私たちは、全国の学生・教職員の方とも連帯して、岸田政権の私学助成金削減に対しても反対の声をあげていきましょう！

サークルから「言論・表現の自由」「平和主義」を脅かす憲法改悪に反対の声をあげよう！

岸田政権・自民党は10/20開会予定の臨時国会で、私たちのサークル活動にとってなくてはならない「言論・表現の自由」「平和主義」を根底から否定する改憲原案の策定に乗り出そうとしています。岸田政権が改憲原案に盛り込もうとしている「緊急事態条項」は、首相が「緊急事態」とみなせば国会を通すことなく法律と同等の効力を持つ政令を制定することを可能にするものです。岸田政権は、戦争に反対する一切の言論・表現を規制・弾圧する権限を掌中にすることを狙っているのです。

私たちは憲法改悪に反対する文化人の方と連帯し、ここ早稲田のサークルからも「改憲反対」の声をあげていきましょう。「とめよう！改憲 文連の会」に集まり、自民党改憲案の危険性を訴える宣伝物の作成や学習会の開催をおこなっていき

ましょう。11月19日には、文化人・知識人の方とともに神原文連委員長も呼びかけ人となって「改憲・大軍拡反対！ ロシアのウクライナ侵略反対！

米日－中露激突のもとでの核戦争を許すな！ 11・19怒りの大集会」が開催されます。文連加盟サークルからもどしどし参加しよう！

ウクライナ反戦デモに参加した愛大生の「退学処分」反対！ 処分撤回を目指す愛大生を支援しよう！

すべての文連加盟サークル員のみなさん！ いま私立の愛知大学で、とんでもない事態が起きています！ なんとウクライナ反戦デモに愛大自治会の幟を持って参加したことをもって、愛大自治会委員長はじめ自治会役員3名に「退学処分」が下されたのです。現行憲法の「言論・表現の自由」「集会・結社の自由」を踏みとじる・文字通りの言論弾圧です！ この暴挙を絶対に許すわけにはいきません！

愛大生たちは既に自治会のもとに結束して、「退学処分」撤回をかちとるために反撃を開始しています。この愛大生のたたかいがメディアで報じられるや否や、X(旧ツイッター)で「退学処分」が「日本のトレンド」になり、「新たな戦前だ」「どこの独裁国家だ」といった声が、著名な文化人からも次々とあがるなど一大社会問題になっています。愛大の「自治会役員の「退学」撤回をかちとる会」からは、全国の学生に、いまこそ「現代のレッドパーシ」 というべき今回の事態に対して、ともに声をあげてほしいと呼びかけられています。この呼びかけに答えて、私たち早稲田のサークル員も、全国の学生と連帯して、「退学」撤回のためにたたかう愛大生を支援しよう！

文連常任委員会では、「退学処分」に抗議し撤回を求める一言メッセージを募集します。すべての文連加盟サークル員のみなさん！ ぜひ一筆ご協力お願いします。この問題をめぐってそれぞれのサークルで討議し、「退学」撤回を求める決議をあげましょう。この間反戦運動にとりくむとともに、学費値上げや学館の管理運営権剥奪に反対してきたのが愛大自治会です。学生の団結の拠点・愛大自治会に対する政治的弾圧を許さない声を、ここ早稲田のサークルからも大きくあげていきましょう！

愛大生への連帯メッセージはこちらから→



←愛大生「退学処分」問題の資料はこちら